

札幌国際芸術祭

やまぐち

山口 かずさ

民主党・市民連合



問札幌国際芸術祭は、単なるイベントで終わるのではなく、国内外との交流により新しい産業や文化を生み出そうという理念に基づいたものにするのであれば、多くの市民に芸術祭について十分に理解してもらうことが重要です。芸術祭の成功に向けて、芸術文化活動をしている市民とどのように連携するのか、また、一般の市民に対し、どのような取り組みを行うのですか。

答アーティストとの交流やワークショップ、ボランティア活動などの市民参加プログラムを用意し、芸術文化活動をしている方だけではなく、一般市民も芸術に親しみながら自らの創造性を育めるよう、取り組んでいきます。

市有建築物の在り方の検討

うえまつ

植松 ひろこ

民主党・市民連合



問新たな市民ニーズの変化に応じて、これまでの発想にとられない新たな公共施設の在り方を検討する必要があります。今後どのような施設配置を想定し、乗り越えなければならない課題をどのように認識していますか。

答身近な地域の例では、「学校」を中心に放課後の子どもの居場所や地域の交流の場などの機能を維持しながら施設を集約することが想定されますが、児童生徒の安全確保や柔軟な運営方法などの課題があると考えています。

教育の問題

あしはら

芦原 進

公明党



問わが会派の調査によると、携帯電話使用の開始時期の低年齢化が進んでいます。子どものネット依存が進むと、食事や睡眠、運動などが不足し、身体がむしばまれるという指摘もあります。ネット依存やトラブルを未然に防止するために、どのように取り組んでいますか。

答各学校では、警察や携帯電話事業者などによる出前教室を実施しています。今後は、教職員向け研修の一層の充実を図るとともに、家庭との連携が極めて重要であることから、新たに保護者向け研修会を実施する予定です。

問食物アレルギーは、血圧低下や呼吸困難、意識低下など極めて重い症状を引き起こすことがあります。緊急時の適切な対応を各学校にどのように働きかけますか。

答アレルギー疾患を有する児童生徒ごとに対応を検討・決定する「食物アレルギー対応委員会」の設置促進など、各学校で適切な対応が図られるように働きかけます。

市議会の動き

9月19日に招集された第3回定例会の中から、9月25日、26日、27日の代表質問の主な内容、10月10日までに議決された議案などについてお知らせします。

10月11日以降の内容は、12月号でお知らせします。

なお、代表質問については、ホームページの録画中継でもご覧いただけます。

冬季オリンピックの誘致

いいじま

飯島

ひろゆき

弘之

自民党・市民会議



問2020年夏季オリンピックの開催都市が東京に決定しました。夏の東京に続いて、本市で再び冬のオリンピックを実現させることは、北海道全体の発展にも大いに貢献するものだと考えます。「新幹線の札幌延伸の早期実現」などにもつながる、「札幌冬季オリンピックの誘致」に取り組むことを検討すべきだと考えますが、いかがですか。

答オリンピックは子どもたちに夢と希望を与え、本市の魅力を世界に発信する絶好の機会です。2020年夏季オリンピックの東京開催が決定した今、平和の祭典である冬季オリンピックとパラリンピックの誘致について、経済界も含めた市民議論を深めていきたいと考えています。

清田区の諸課題

きたむら

北村

こういちろう

光一郎

自民党・市民会議



問清田区は唯一、軌道系交通が整備されていない区であり、長年、地下鉄延伸を市に要望しています。また、区役所へのバスのアクセスが悪いなど、区内の公共交通ネットワークの充実が喫緊の課題です。地域の足となるバスの利便性向上について、どのように取り組むのですか。

答バスネットワークの在り方やバス待ち環境の改善などの利便性向上策について地域の皆さんと一緒に考え、バス事業者と連携して取り組みを進めていきます。